

町の人口

昭和42年12月1日現在
 住民登録人口35,932人

内	男	17,668人
	女	18,264人
世帯数		10,471戸
11月中	(増)	353人
	(減)	269人



1967.12.13.

No. 7 8

発行所 福生町役場
 発行兼 調 査 室
 編集人
 電話51-1511・内線294



ぼくは風邪にはまけない

寒い木枯ののって、風邪のための集団体操や臨時体操などが聞かれる季節になりましたが、町では去る10月17日から11月30日まで、インフルエンザの予防接種を町内各所で一斉におこないました。ここ熊川保育園のよいこたちも風邪にまけない丈夫なからだで、この冬をのりきろうと、みんな元気に予防注射をうけました。

「ぼく痛かったけど泣かなかったよ。もう風邪なんかにはまけないや、みんなとても元気です。みなさん、寒さにまげず、この冬を元気に過しましょう。」

季節の話題

火災と生活

わが国は、世界でも有数の火災国で、年間五万件以上の火災が発生しており、これは日本中のどこかで、九分間に一件の割合で家が燃えていることになりました。また一日に二・六人が焼死し、損害額は年間五百数十億円にのぼるといわれます。まつたくおそろしいことです。木造家屋の多いわが国は、昔から火災は多く、大火にはしばしば見舞われていました。時代の進んだ現代でも、火事は減少するどころか、ますますふえていく傾向です。火事は世の中が進むにつれて多くなるものなのでしょうか？

これは、消火力などは昔にくらべ長足の進歩をしているにもかかわらず、産業経済の発展により、大都市化が進み人口は集中し、また、石油、ガス、電気器具など、ちよつとした不注意により、火災の発生しやすい製品等が出まわっているためです。

わたくしたちの周囲は、ますます火災が発生しやすくなっています。万全の注意が必要なのです。人間が他の動物と違うものの一つとして、火を使うことがあげられますが、わたくしたちはこの人間のみに与えられたすばらしい能力を、過

ちのないように使いたいです。



急激な人口増で 苦しい福生町水道事業

みなさんのご家庭のお台所にあふれてるきれいな豊富な水、この水も町の発展と生活水準の向上により、使用量が年々ふえ、今年の夏はどうか乗りきることができましたが、このままだでは、あと一、二年で水不足をきたすというピンチに迫りこまれました。このため水道施設の拡張をしなければならず、福生町水道事業会計はたいへん苦しい状況です。そこで福生町水道事業の現況を特集してみました。(写真は、人口増に伴い急ピツチで進められる導水管工事)



原水(井戸)はどうか

現在、福生町には十本の深井戸があり、これらを汲みあげ、みなさんのご家庭に送っておりますが、深井戸から出る水量には限りがあります。またどこでも井戸を掘れば水が出るわけではありません。これから町で掘れる深井戸はせいぜい三本程度です。掘る場所も熊川の武蔵野地区の高台に限られますので、そこから浄水場まで水を送り、消毒してみなさんの家庭へ給水するわけですから、井戸から浄水場までが遠くなれば、なるほど

と費用が多くなるわけです。現在の十本の井戸で汲みあげられる一日の水量は一、八〇〇トンで今年の夏の日最高使用水量にはどうにか間に合つたのですが、深井戸の水は毎年約五割づつ減つており、このままの状態では減つていき、あと一、二年で水を足さなくてはなりません。このためには、現在、原水の確保といういろいろな施策の拡張をしなければならぬ状態です。別表一は、昭和四十三年までに深井戸三本を予定した今後の使用水量と不足水量を示したものです。なお、福生町の

浄水場と配水能力

深井戸から汲みあげた水を貯え消毒して、みなさんのご家庭へ送るのが浄水場です。町には、現在の三つの浄水場があります。第一浄水場は水道事業がはじまつてからのものであり、老朽化してしまっています。第三浄水場は今年三月に完成し、現在加美平地区へ給水しておりますが、一日、二、三、〇〇トンの配水能力をもち、町の浄水場では、最も近代的な設備を誇つております。しかし配水能力があつても肝心の水がなく、将来は不足する水はどうしても東京都の分水から引く必要が生じており、これを受け入れる施設の建設を考えなければならぬ状態です。

浄水場	一日配水能力	建設年
第一	壱〇〇トン	昭和二十八年
第二	二二〇トン	昭和三十八年
第三	三〇〇トン	昭和四十二年

水道事業の経営

借入金は

二億三二九九万円

みなさんの水道料金は、人件費や浄水場、深井戸、配水管等の建

福生町から火災をなくそう きをつけよう

石油ストーブとプロパンガス

いよいよ火災シーズンがやってきました。福生町の火災はきわめて多く、毎年数千万円の貴重な財産が灰になつていきます。町の消防団では最近特に多くなつた油火災についての取扱ひ指導を各小学校でおこないましたが、ここに、石油ストーブとプロパンガスの取扱ひについて重点的にかかげてみました。

石油ストーブ

- 1 点火前に燃料を十分に補給する。やむをえず使用中に燃料を補給するときは、必ず火を消し、しばらく間をおいてからにする。
- 2 注油のとき、注油口、燃焼筒などの付近についた油や、近くにこぼれた油はよくふきとること。
- 3 燃料は白灯油以外のもつてガソリンなど白灯油以外のものを使用するたいへんです。よく確認してから使うこと。指に油をつけてその乾きの割合早いものがガソリンです。
- 4 とときどき器具が完全かどうかを調べ、できれば専門家に修理させて、常に完全な状態で使う。
- 5 使用中と火を消した直後は、絶対に器具を持ち運ばない。
- 6 カーテン、家具ふとんなど燃えやすいものの近くや通路では使わない。
- 7 使用中は、必ず一人は、そばについているよう心がける。
- 8 異常燃焼を起したときは、あわてずに、一度バルブやレバーをして消火すること。絶対に燃えてるままで外に運び出さない。
- 9 補給用の燃料は、缶に入れ、密せんで、火の気のない風通しのよい日陰に置くこと。なお、百リットル以上買い置くとときは近くの消防署に届け出ること。
- 10 煮こぼれによつて焰が大きくなり、近くの燃えやすいものに火



油火災には消火器が最適

別表1 年度別給水人口表

年次	給水人口 人	使用水量		不足水量 m ³
		m ³	汲み上げられる水量 m ³	
43	47,976	14,392	15,290	0
44	51,576	15,472	14,530	0
45	55,416	16,624	13,800	454
47	66,096	21,150	12,470	6,550
48	70,612	22,259	11,830	8,735
49	74,469	26,808	11,230	13,648
50	78,692	28,329	10,660	15,839

設備に使われますが、人口増に對するためのいろいろな施設を備えるには、水道料金ではたりません。そこで、国から資金を借りて、あとで返済するのことにしています。

今まで三億三、九千万円を借り入れ拡張事業をおこなっており、国からの借入金も多額に増え、元金や利子の返済額も次第に増えてきました。また施設も拡張により、職員の数も増え人件費も増加し、財政はきわめて苦しむ状態です。左の円グラフは、昭和四十一年三月現在のトシ当りの水道原価の用途を示したものです。

水道料金は二十五円五九銭です。年度から赤字となります。

1人当り水道原価の使用用途



以上簡単に町の水道事業の現状についてご説明申しあげました。町民のみなさま方におかれまして、どうかこの事業に対し、さらに深いご理解とご協力をお願いいたします。

安い福生町の

水道料金

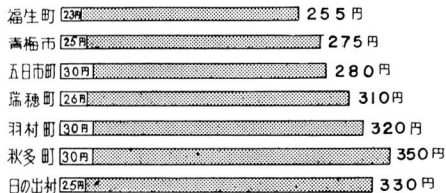
福生町の水道料金は、ここ数年諸物価の値上りが著しいにもかかわらず、昭和三十八年以来値上げはされず、別表のとおり西郡市町村では最も安い料金でみなさんのご家庭に給水してきました。しかし急激な人口増と生活水準の向上により、一人当りの消費量がふえている現在、この苦しい財政事情を切りぬけるためには、どうしたらよいか現在町としてもいろいろと研究し努力しております。

諸物価の値上りと水道料金

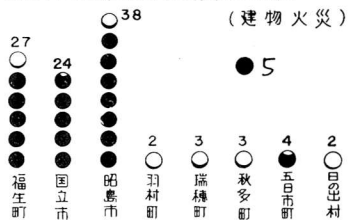
年度	昭和38年	昭和42年	値上り倍率
水道料	210円	210円	0
バター	800	1200	1.5
米 1kg	97.5	141	1.4
ラーメン	40	70	1.8
豆腐	20	25	1.3
牛乳	17	25	1.4
理髪料	300	450	1.5
風呂代	20	28	1.4
新聞代	350	580	1.7

西郡市町村水道料金

■ 家庭用基本料金
□ 1人当り超過料金



昭和41年近隣市町村火災発生状況

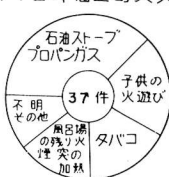


のつことがあから、煮こぼれに注意し、絶対にその場所を離れないこと。

プロパンガス

- 1 容器、調整器、配管などが完全に設備されているかどうかを販売業者によく確かめさせ自分で絶対にはじらない。
- 2 火口のごみや燃えかすを取り除いておくこと。
- 3 カーテン、ふとん、家具など燃えやすいものの近くで使わない。
- 4 煮こぼれなどにより火が消えて、生ガスが出ていることがあるから、そばを離れない。
- 5 ゴム管が、コンロの火で焼かれることがあるから注意する。
- 6 ストープのゴム管が長いと踏みつけたり、よじれたりして火が消え、生ガスが出ることもあるから注意する。
- 7 使用後は、器具せんだけでなく

昭和41年42年福生町火災発生原因



ガス漏れに気づいたときは、まずガス栓を全部しめて、窓や出入口をあけて風通しをよくし、すぐ修理してもらおう。

- 1 まずガス栓を全部しめて、窓や出入口をあけて風通しをよくし、すぐ修理してもらおう。
- 2 マツチ、電気器具のスイッチには絶対にはじらないこと。
- 3 漏れたガスは、下の方にたまっていくので、うちわなどでおいで、ガスを外に追い出し、ガスが残っていないことを確かめてから火を使うこと。
- 4 アパートの場合、他の居住者も、自分の部屋でガス漏れを起したと同じ措置をとること。

なお油が燃えだしたときは、消火器がなければ、毛布などを水でぬらし、器具を倒さないように注意しながら、上にかぶせ、その上から水をかけてください。

その他、フマキラー、ヘアースプレーなどはすぐ発火しますので特に注意してください。

町有財産の状況

①土地建物	土地	建物
庁舎関係	4128.3m ²	3286.1m ²
学校関係	84726.1m ²	2,6152.8m ²
公共用財産	148,175.0m ²	8426.5m ²
空地	7,435.m ²	
②物品		
乗用車	2台	ジーブ 1台 ステレオ 2台
貨物自動車	4台	グレーダー 1台 ピアノ 12台
消防自動車	5台	その他機械類53点
③施設	貯水池 91基	プール 7カ所

町 債 114,662,434円 { 政府資金 103,472,069円
 { その他 11,190,365円

特別会計歳入歳出状況 単位千円

	収入額	収入額の予算 に対する割合	支出額	支出額の予算 に対する割合
国保会計	34,610	45.3%	29,511	38.7%
と畜場会計	13,276	76.4%	9,161	52.7%
公益質屋会計	800	47.1%	602	35.4%
福生町都市計画 区画整理会計	58,207	77.7%	5,4018	72.1%

歳入歳出は順調

大きな事業は学校関係と道路舗装

このほど、昭和四十二年度上半期の財政事情が公表されました。内容は四月から九月まで、どのくらいお金が入り、どのように支出されたかの状況です。すでに昭和四十一年度決算をもつて、約三千万円の黒字となり、健全財政へ復帰しましたが、本年度も教育行政の強化と、土木、交通行政を中心

に事業を行なっています。ただ九月までは年度途中です。で、収入、支出とも予算額に比べ低い執行率で、歳入では予算額の三九・二%にあたる二億四〇七一万一千円が入り済で、歳出では予算額の二八・三%にあたる一億七三五八万二千円が支出されました。これは、国庫支出金などの特

昭和四十二年上半期(四月一日～九月三十日)の財政公表

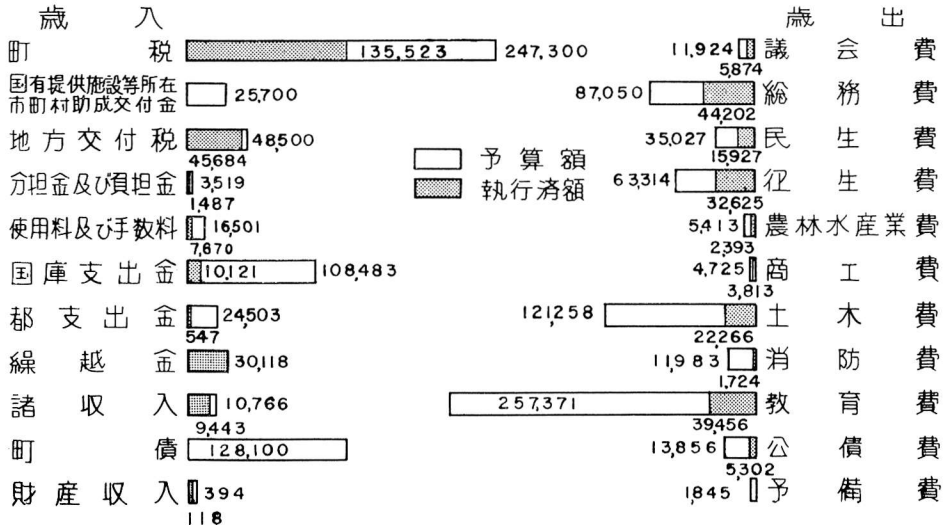
定財源の決定や大規模な建設事業が下半期に集中するため、毎年みられる傾向です。町税は昨年同期と比較して約二三五〇万円の増収であり、また歳出においても、一時借入金もなく、すべて順調に進んでいます。一方特別会計は例年に比べ特につまづいた事情もなく、このまま進みますと、ほぼ予算額どりの執行が予想されます。

上半期の主な工事

- ▽ 第二中学校プレハブ教室移転改築工事 七五五万円
- ▽ 第二小学校プレハブ校舎新設工事 一二五五万円
- ▽ 第四小学校用務員室新築工事 八〇万円
- ▽ 交通安全施設等整備事業 六九万円
- ▽ 町道十三号線及び八五号線舗装新設工事 一五〇万円
- ▽ 町道一六九号線舗装新設工事 一二二万円
- ▽ 四〇m³級防火水槽新設工事 一五二万円
- ▽ 第一中学校体育館床改修工事 一七七万円
- ▽ 第四小学校さく井工事 三四六万円
- ▽ 第四小学校防音改築第二期工 三三六二万円
- ▽ 町道三五九号線舗装新設工事 二二五万円

昭和42年度上半期歳入歳出状況

単位千円



雨が降っても大丈夫 喜ぶ牛2町会の人々

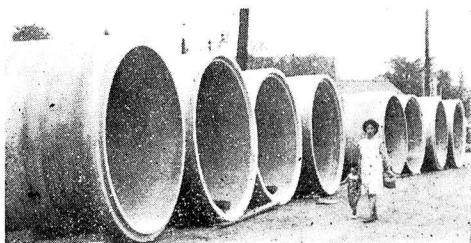


横田基地周辺排水工事 一部終る

横田基地周辺排水工事のうちその一部である福生町自治会館から幸楽園前までの河原まで、延長 825mが完成しました。この排水路は、この地区の幹線です。町はこの排水路の完成にあわせて、最も浸水のひどい中浜地区の排水整備のため、第三小学校前の道路に排水管を敷設し、長年にわたつて豪雨のたびに牛二住民や消防町を悩ましていた浸水を解消しました。

今は昔の物語、豪雨のたびにあふれ出る雨水は附近の家屋の床上まで浸水し、福生グラウンドは池になっていた。

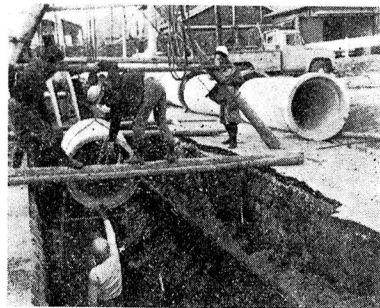
(昭和41年の夏の雨)



埋設された管の大きさは、直径 2.3m、大男でも平気で歩けます。



横田基地周辺排水工事 青梅線、玉川上水、奥多摩街道などの障害物はあつたが、作業は急ピツチで進められた。



雨の日の翌日、もう雨水はどこにもみえない。附近の人たちも雨水と戦う余分な仕事もなくなり、通学することもたちにとつても長靴はいらなくなった。

第三小学校前には、直径 1mの排水管が埋設され、本管と接続した。

年末年始案内

☆役場の事務

- ▷12月28日 一般事務は午前中
- ▷12月29日～1月3日 一般事務は休み、29日、30日は収入役室で金銭の取納事務をおこないます。
- ▷1月4日 仕事始式 一般事務は12時まで
- ▷1月5日から平常どおりおこないます。

☆じん芥ちゆう芥収集

歳末収集 12月30日 午前中終了
 正月収集 1月5日開始します。
 この日は「危険物」収集の日ですが、台所のゴミだけをだしてください。危険物は12日の金曜日にお願います。

☆し尿処理

12月30日午前中で終了
 1月6日から開始
 今月1日～5日頃の汲取りが終了している地区では、今月末に1月分の作業を行います。

武陽運送社 電話 51～2711
 福生清掃社 電話 51～1062

☆歳末美化運動

清掃週間 12月18日～24日
 一斉収集日12月24日 この日はゴミを午前中にじん芥車停留所においてください。ゴミはまとめて持ちやすくしておくこと。なおお糞、石、カワラなどは当日は出さないでください。役場に連絡していただければ、有料収集します

12月10日は人権デー

「人が幸福な生活を送るのに必要なら人間としての権利。つまり「人権」を侵害されたとき黙って我慢することは、人権を侵害する行為を認めることになるばかりでなく、自己の「人間としての権利」を自分から守ってしまうことになり、自分の人権は、まず自分で守らなければなりません。それには苦さ寂入りは禁物です。」

- △ あなたの権利が侵されたとき、または侵されようとしたとき、遠慮なく人権擁護委員にご相談ください。
- △ 委員はいつでも無料であなたの相談に応じ、秘密を守り、適切な助言をしてくれます。また事情をよ
- ▽ 町その他、人権が犯されたと思われるとき。
- ▽ その他、人権が犯されたとき。
- ▽ 調べたうえで適切な救済手段をとります。
- ▽ 人権侵害例
 - △ 家主や地主から、いやがらせなどにより、一方的に追い立てられているとき。
 - △ 老人や子供が虐待されているとき。
 - △ 集団の力で、不当な差別をうけたとき。
 - △ ひどい騒音、悪臭、汚水などが悩まされているとき。
 - △ 法の定められた手続によらないで制裁をうけたとき。
 - △ 交通事故等、不当な侵害をうけ、加害者が誠意をみせないとき。

の午前1時から午後3時までです
人権相談員
 服部 取道 福生町熊川二〇
 電話五一三〇六二
 田中 政一 福生町本町一〇七
 電話五一〇二一八

検査審査員に
 久保万里子氏

いろいろな犯罪で、被害をうけた人が警察や検察庁に訴えても、検察官が裁判としてとりあげてくれなかつた場合、それが正しいかどうか審査してもらうことができ、審査員を受けて調査する人が、検査の審査員です。審査員は衆議院選挙の有権者の中から抽選で選ばれますが、去る十月三十一日福生町から、久保万里子氏（福生町熊川一〇七〇）が選出されました。任期は六月までです。検査審査会に審査の申立をするには、費用は一切かかりません。申立手続きについて

ては、つぎの所へお問合せください。
 八王子市明神町一六五
 東京地方裁判所八王子支部構内
 八王子検査審査会
 電話 〇四二六一〇五一九五

加美平の居住者に
第二中学校が
新しい投票所

加美平の住宅団地が完成し、有権者が増えましたので、加美平の居住者のために、第二中学校が新しく第七投票所として、つぎの選挙から利用されます。なお、投票所、投票区域はつぎのとおりです

有権者は42年9月30日現在

投票区	投票所	地 域	有権者数
1	福生町役場	本町1,2,3 志茂1,2 長沢1	3,329
2	第一小学校	長2,永田,加美1,2中央,本6	3,425
3	第二小学校	鍋1,2 武蔵野	3,768
4	福生自治会館	熊牛,富士見合,福牛1,2 原ヶ谷戸,横田基地,福栄	5,222
5	すみれ保育園	本7,8	3,307
6	都立多摩工業高校	南、内出、南団地	2,318
7	第二中学校	加美平団地	1,910

電話局からお願い

12月17日から立川、昭島、日野の市内局番が変わります。
 変更内容

- ▷立川市 2局が22局に 3局が23局に 新しく24局が誕生 36局は現在のまま
- ▷昭島市 4局が41局に
- ▷日野市 8局—81局

したがって、立川市へは0425—22—〇〇〇〇 昭島市へは0425—41—〇〇〇〇となります。
 〇425へは042598とダイヤルをまわし、検原〇〇番と申しこむとすぐつながります。

郵便局からお願い

- ▷ あて名は、都、道、府県、町名、番地、方まではつきり書いてください。
- ▷ 差出人の住所氏名を正確に書いてください。
- ▷ アパート、団地のあて名は、〇〇荘、〇〇団地棟番号、室番号まで書いてください。
- ▷ 年賀状は、12月22日までに都内あて、福生町、秋多町あて毎に束めて出してください。贈答用小包は12月15日までに。

水道の防寒対策をしましょう

12月になると、いつ寒波に襲われるかわかりません。水道や井戸は永点下1度くらいでは凍ることはありませんが、永点下3度以下になると凍結します。凍結する部分は、地表からじや口までの部分です。早いうちにわらかぼろきれをよく巻きつけておきましょう。なおよく晴れた日の朝は冷えこみがきびしく、雲の多い日はおだやかな気温となります。

なお、パイプの破裂などの事故がありましたら、町の指定工事店へ連絡してください。

安藤製備KK	志茂175	51-0517
石川製備工業	熊川179	51-0949
大森設備工業	// 858	51-3562
菅野設備工業	志茂204	51-0610
桑林工業所	// 199	51-0261
逸和工業	福生690	51-1396
高崎ポンプ工業	// 972	51-0309
森田工業所	熊川741	51-0747



寒い冬がやってきましたが、わたくしたちの周囲にはこの冬を暖く過ごすことができず、毎日の生活に追われている不幸な人たちがおります。このような人に愛の手をさしあげようとするのが、この歳末たすけあい運動です。

今年も福生町社会福祉協議会の婦人部会の人たちにより、みなさんのご家庭を訪問しこの運動が実施されており、暖い協力をお願いいたします。

- 昨年の実績
- 募金額 六九四、五二七円
 - 配分 恵まれない人へ(一九九世帯) 四三三、三〇〇円
 - 保育園々児援護(三八〇人) 三三八、〇〇円
 - 学用品プレゼント(二四〇人) 四二、〇〇〇円
 - その他事務費 三九、五二七円
- 火災など緊急援護費として 積立一四一、七〇〇円

// みんなで明るいう正月を //

十二月一日—三十日

歳末たすけあい運動

精神障害のご相談は 衛生係へ

最近、精神安定剤の発展により、精神病の治療が容易になり、精神障害者の社会復帰は目ざましいものがあります。現在、保健所では精神衛生を重点策として、精神障害者ならびに家族と面接し、必要に応じて精神病院に紹介し、委託または精神的、経済的問題について相談、訪問指導を行なっています。このような問題で相談を受けたい方は、民生課衛生係へご相談ください。手続きは簡単です。なお、必ず印鑑をご持参ください。

米穀通帳の有効期限は

明年二月二十九日まで延期
食糧管理法の施行に関する件の一部が改正され、現在使用しているオレンジ色の米穀通帳は、昭和四十三年二月二十九日まで有効期限が延期されます。

十一月一日から

振興信用金庫福生支店
三井銀行八王子支店が
福生町指定金融機関に
十一月一日から、つぎの二つの金融機関が福生町の指定金融機関になりましたので、税金の納入にご利用ください。

振興信用金庫福生支店
三井銀行福生六五六
八王子市旭町一八

多摩川をきれいにしよう

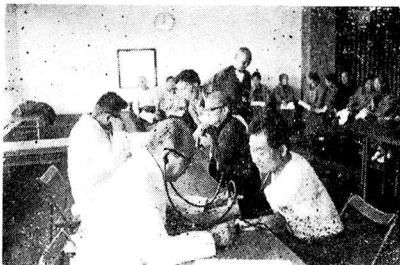
11月26日午前10時から第1回多摩川をきれいにしよう運動がおこなわれました。これは西多摩郡の新生活運動連絡協議会が、年毎に汚れていく多摩川をなんとか美しくしようとはじめたものです。この日は、ボーイスカウトをはじめ婦人会の人たちも参加して清掃をおこないましたが、みるみるうちにゴミの山はつきつぎとでき、ガラスやあきかなどもたくさん集められました。この運動はこれからも行なわれますが、みなさん多摩川をいつまでも楽しい遊び場とするため、ゴミを河原へ捨てないようにしましょう。



にぎわった老人健康検査



11月13日午後1時から老人の成人病予防検診が生活改善センターでおこなわれました。これは老人の健康維持のため、65才以上の方を対象に、血圧測定、糖尿病や胃の検査など老人病の早期発見を目的に毎年無料でおこなっているものです。この日は約170名が検査を受けましたが、みなさんはとても元気で、健康維持のためいろいろな指導を熱心に行っていました。



この人に聞く

⑨

元福生町国保運営委員

山田正礼氏

明治23年生 77才



今月は町の自治功労者として表彰された山田正礼先生を訪ねました。先生は、「私なんか表彰の価値はない、ただ長くやらしてもらっただけだ。広報に다さしたら困る」となかなか話をしてくれませんが、メモをとろうとすると、「それは困る」というので難談の中で先生の話をしたことをとりまててみました。従つてこの記事にはあいまいな点が多々あるかも知れませんが、その点については、先生及びみなさま方のお許しをいただきたいと思ひます。

先生のお父さんは大変厳格な方だつたそうですが

とにかく、おやしの前では小さい時から、何時もかしこまされていたものです。袴も自分でけない時代は、きちんとたたまないで怒られました。どうもおやじがいつこくだつたせい。か、私もやじがこんで患者さんに、ぶん失礼

な云い方をしたと思つております。

村時代のお医者さんはどうでしたか

当時は病院もなかつたし開業医も少なかつたので、患者さんほどんな病気で医者へ行けば治してもらえらと思つて来ました。ですから自然といろんな事を勉強し、怪我でも眼科でも、ひととりの処置は心得なければなりません。けれども大性我でもされると大変で応急処置をして外科専門の医師へ送るわけですが、その外科が当時に近いところで立川と青梅に力ありませんでした。もつとも人力車で往診する時代で、今のよう

に交通事故などなかつたですが

当時の医療費は

昔は、診察代は盆暮の二回払いでした。この集金が大変で、半分に集まればいい方です。ですから、医者には借金のある人はかなり悪く

ならないと来ない、その為には手廻れになるというような事もありました。医者としては、病気を治すのが使命なんですから借金の事なんか気にしないで来てくれればよかつたのです。

その当時を思うと今は本当に恵まれていと思ひます。

村医も長い間おやりになられたそうですが

私の場合変つてまして、福生村の村医もやりましたが、隣の東秋留村の村医も十数年にわたりました。

村医の主な仕事はやはり伝染病関係で、昔はチブスが多かつた。

伝染病になるとさみしい場所にあつた避暑舎へ入れられるわけですから、当時は伝染病の発生は大事件でした。

国保の運営はどうでしたか

福生の国保は戦後一時中断して、昭和二十四年に新発足しましたが、当時は保険に対する認識がなく、町の理事者の方々は大変苦労されました。患者さんも保険証ではよくみてもらえないから、とわざわざ現金でかかつたりしました。ですから保険でも十分おるんだからと説明するのに骨が折れました。患者さんも、のみ薬で治る病気なのに、何んでもいいから注射してもらえばいい治療をしてく

れたように思つたのも問題があつたわけですが……

また充足当時は、五割給付でしたが本人は医者に金を払わず、町が全額医者へ支払つてから、あとで本人の負担分を町が徴収していただきましたが、昭和三十三年頃から窓口徴収(今のように本人がその都度医師に支払う)方法に変えられました。ちようど郡の医師会長をしていて、町側と医師側の中に立たされ困りましたよ。

最近の医学はどうですか

最近の医学は全く日新月异で、次々と新しい病源が発見されて、それにそつた治療方法が確立されています。もう私のような老人の時代ではありませんよ。

私達の時代は聴診器と、この指先に全神経を集中して診察してましたが、それでもわからない時は、他の医者の立合で、お互に診察して調べたものです。それはやはり水い経験から生れたもので、病気を治せた時は本当にほつとしました。それが今は立派なレントゲンや精密検査の機械でたいがい

の病因は発見出来ます。医者も患者さんも恵まれていますね。

厚生大臣の表彰をうけられたそうですね

ええ何かよくわからないけど昭和三十年ですか、表彰されました……これも皆さんのおかげで、私なただその代表で表彰されたよう

かどうか話が進まない、そこで、第三者に登場してもらいました。Aさんは……先生は、ちようどNHKでやつていて、〆旅路〆の南部駅長みたいですね。南部駅長の、その大飯食ひと、部下をどなる声の中には限りない部下への愛情がこもつています。山田先生はよく怒るといわれますが、決して個人の感情ではいいつていない例えば、奥さんはいかににお化屋して着かざつていられるに、赤ちやんはよこれた下着、おしめなどつけている場合、〆だめぢやないか〆と怒ります。その際には、自分だけらしいしないで、赤ちやんを大事にしなさい……と云う意味なんです。先生はどの人に対しても公平に誠実に診察してくれました。確かにお世辞は嫌いでしたが、先生を知つていられる人は皆尊敬しています。

Aさんはしみじみとそう語つてくれました。

ここに名譽や金銭からはなれてひたすら医者としての道を歩まれた先生の方があります。

今先生は自宅の方は一切息子さんにまかせて、診察はしませんが毎週三回、青梅保健所の嘱託医として活躍しています。

明治二十三年生 七十七才
千葉医専卒 元福生町国保運営委員、町医、西多摩郡医師会長

都診療報酬審査委員等歴任。